



1964年東京五輪 聖火ランナーユニフォームとトーチを展示

1964年の東京オリンピックで使用された聖火ランナーのユニフォームと聖火トーチを、役場庁舎1階に展示しています。これらは、当時聖火ランナーとして約2kmを駆け抜けた萩原晃さんのものです。2020年の東京オリンピックが終了するまで展示します。ぜひご覧ください。



約20人の聖火ランナーの先頭を走ったのが萩原さん



「腕の角度まで決められていたので大変だった。当時一緒に走った人たちとまた会ってみたい」と語る萩原さん



社会を明るくする運動

罪を犯した人の更正について理解を深め、明るい社会を築く「社会を明るくする運動」強化月間の7月は、町保護司会、更正保護女性会の皆さんが、全体会議やのぼり旗設置など啓発活動を行いました。また、7月1日⑥には「町全体で犯罪歴のある人の更正を支えていきましょう」という内閣総理大臣と県更正保護女性会のメッセージが町長へ伝達されました。

女性防火クラブ救命講習会

町女性防火クラブ(高橋美智子会長)は、7月20日⑥に渋川広域消防南分署職員を講師に招き、心肺蘇生法やAEDの使用方法を学ぶ普通救命講習会を開催しました。27人の参加者たちは積極的に質問するなど、熱心に受講しました。

お詫びと訂正

広報よしか8月号(No.341)15ページで紹介したポンプ操法競技会につきまして、番員賞を受賞した善養寺将大さんの敬称が表記されていませんでした。お詫びして訂正いたします。

ALTIMOの徒然日記

Michelle's View theme テーマ“ラフティング” “Rafting!”

先日、ツアーでラフティングに行ってきました。ラフティングの前に、ガイドさんから丁寧にやり方を教わりました。そして、ウェットスーツや救命胴衣を着て、利根川へ向かいました。

始まったときは、あまり速く漕げませんでした。ボートに乗っている全員が同じタイミングで漕がなければならないので、初めはとでも難しかったです。でも、リズムが分かってきて、同じタイミングで漕げるようになってから、どんどん速く進むようになりました。

川の水はとでも涼しくて、気持ちよかったです。途中で何度もボートを出て泳ぎました。

そして、高い岩から川に飛び込んだりして、とてもエキサイティングでした。泳ぐのは久しぶりだったので、いっぱい楽しみました。

ラフティングは危ないと思うけど、実は、安全ルールを守ればそんなに危険ではないと思います。そして、一緒に行った人ともっとつながることができます。これからきっと暑くなるから、ラフティングへ行くのはオススメです。

